

令和3年度 公益社団法人  
上里町シルバー人材センター事業計画書  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

昨年度は、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大防止に明け暮れた1年でした。2020年東京オリンピックを始め、大きなイベントは延期となり、不要不急の外出を止め、三密（密閉・密集・密接）を避けての新しい生活様式が推奨されています。センターにおいても、朝の体温測定、マスク着用を義務付け、三密を避ける就業のしかた等工夫をしています。

令和3年中には新型コロナウイルスワクチンの接種が期待できそうで、接種まで感染しないよう持ち堪えようという気運が広まっていますが、今後の感染拡大の程度によっては、より強力な緊急事態宣言の発令など予断を許しません。当センターにおいてもその影響は大きく、令和2年度初めに発令された、緊急事態宣言時は一時的に収益が、40%近く落ち込んでいました。

平成24年4月1日から公益社団法人としてスタートして、ちょうど10年目に入ります。昨年度末には第1次中期計画を策定し、令和3年度はその計画の初年度になります。シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いておりますが、この時期を乗り越えるために、就業拡大、会員数増大に力を注ぎ、より多くの高齢者の方々に就業していただき、シルバー人材センターから笑顔を地域に広げ、「定住したい町」になる一助になるよう努めてまいります。

## 1 現状と課題

人生100年時代（超高齢化社会）の中、企業での定年制の65才への延長、70才までの雇用努力により、上里町シルバー人材センターでも会員の高齢化が進んでいます。特に戦後の各時期をけん引してきた、ベビーブーマー世代も70才代中盤に差ししかろうとしています。個人差はありますが、70才代になるとフレイル（心身の加齢変化）も出始め、運動能力や認知機能の低下により就業に支障がでるケースもあります。

技術の進化も著しく、多くの高齢者がパソコンやスマートフォンを扱っています。シルバー人材センターの仕事は、基本的に臨時的、短期的な業務が多く、これらの作業自体の自動化がされることは、考えづらいですが、一部の管理業務等においてシステムが導入され、パソコン端末による入出力、報告などは普及し始めています。

『自主・自立・共働・共助』という崇高な理念とは裏腹に、センターへの帰属意識が低い会員が見受けられます。自己中心的で、周りの会員との関係も悪く、センターの

評判自体も落としかねません。会員の帰属意識を高め、誇りを持ってセンターで就業できるようにしなければなりません。

## 2 計画目標と方針

- 1) 契約金額の緩やかな成長（目標：昨年度比2%増）で就業機会の確保を推進
- 2) 派遣を中心に新規顧客また新規事業の開拓により、センターの高齢化に対応（目標：派遣比率11%）
- 3) 会員数増加により、より多くの高齢者に就業を提供（目標：会員数225名）
- 4) 高い就業率の維持（目標：85%維持）
- 5) 女性会員比率の向上（目標：32%）
- 6) 就業中、就業途上の事故撲滅

## 3 重点的施策

- 1) 会員増加（特に女性会員）
- 2) 就業開拓
- 3) 安全・適正就業
- 4) 町役場・町議会との関係強化
- 5) 組織・運営体制の強化

## 4 会員増加について

会員数はここ数年、210名前後で推移してきました。新規の会員登録は毎年15名前後ありますが、同時に、加齢等の理由による脱会者もほぼ同数出て、全体的に伸び悩みが見られました。いきいき埼玉（連合）と昨年度末に実施した、会員拡大キャンペーンをフォローして、会員数225名を目指します。

## 5 就業開拓について

新しく採用した就業開拓専任員が中心となり、昨年度に立ち上げた事業、「シルバー出張美容室」や「空き家しんせん組」を軌道に乗せます。また、上里町商工会との連携を深めることにより、新規の顧客にて就業開拓を進めてまいります。

## 6 安全・適正就業について

安全は、会員が就業等の活動を通じて社会参加をする上でも最も重要な課題であるため、「事故に会わない、起こさない」をスローガンに掲げて、安全適正就業委員会による安全巡回パトロールや地元警察による交通安全講習会の開催、シルバー連合等による安全就業講習会等に積極的に参加して、事故の撲滅に取り組んでまいります。

適性就業に関しては、契約内容・就業形態を見直すとともに、ローテーション就業により改善を計ります。

#### 7 町役場・町議会との関係強化について

町役場からは、毎年度、多額の補助金を交付していただいています。これをベースにして、国庫補助金をいただき、シルバー人材センターの運営費等を賄っています。このため、町役場・町議会の、センターの意義と活動に対する理解、支援が不可欠となります。今後も定期訪問を通じて、強化していきます。

#### 8 組織・運営体制の強化について

会報、掲示板等により、会員に対してシルバーの価値や目指す方向を理解、浸透させ、会員のシルバーに対する愛着心（エンゲージメント）を高めます。また、会員に対するパソコン教室を開設するなど、教育面での充実を図ってまいります。